



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月28日
上場取引所 東

上場会社名 新京成電鉄株式会社
コード番号 9014 URL <https://www.shinkeisei.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞下 幸人

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計・連結会計担当課長 (氏名) 内藤 智喜 TEL 047-389-1125

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始 2021年6月28日
予定日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	17,415	△18.2	△689	—	△364	—	△1,085	—
2020年3月期	21,302	△0.7	2,919	△13.2	3,299	△12.5	2,355	△12.1

(注) 包括利益 2021年3月期 △243百万円 (—%) 2020年3月期 1,165百万円 (△68.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△98.90	—	△2.5	△0.4	△4.0
2020年3月期	214.55	—	5.4	3.3	13.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 204百万円 2020年3月期 320百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	102,664	43,486	42.4	3,961.40
2020年3月期	100,929	44,059	43.7	4,013.48

(参考) 自己資本 2021年3月期 43,486百万円 2020年3月期 44,059百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,577	△3,669	1,513	5,775
2020年3月期	5,063	△6,206	49	5,354

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00	384	16.3	0.9
2021年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00	274	—	0.6
2022年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00		28.9	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,700	15.2	764	—	700	—	364	—	33.23
通期	19,519	12.1	1,262	—	1,516	—	949	—	86.49

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	11,023,228株	2020年3月期	11,023,228株
2021年3月期	45,673株	2020年3月期	45,225株
2021年3月期	10,977,842株	2020年3月期	10,978,139株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	12,685	△16.9	239	△91.0	485	△83.2	11	△99.4
2020年3月期	15,263	△2.8	2,669	△11.8	2,887	△11.3	2,037	△11.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	1.07	—
2020年3月期	185.64	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2021年3月期	99,042		39,293		39.7		3,579.40	
2020年3月期	96,792		38,853		40.1		3,539.17	

(参考) 自己資本 2021年3月期 39,293百万円 2020年3月期 38,853百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,051	10.8	1,711	615.0	1,821	274.9	1,271	—	115.81

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況 次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けており、経済活動の持ち直しの動きは見られたものの、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは引き続き安全管理体制の更なる充実を根幹とし、全事業において積極的な営業活動を展開するとともに、経営基盤の強化および業務の効率化に努めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や在宅勤務の増加により輸送人員が減少するなどしたため、営業収益は17,415百万円（前期比18.2%減 3,886百万円）、営業損失は689百万円（前期は営業利益2,919百万円）、経常損失は364百万円（前期は経常利益3,299百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,085百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益2,355百万円）となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、松戸新田駅の土留め壁補強工事並びにみのり台駅の駅舎耐震補強工事を実施いたしました。諸施設のバリアフリー化につきましては、前原駅および常盤平駅のホーム内方線の設置およびホームの嵩上げ工事をすすめました。

環境負荷の低減に向けた取り組みにつきましては、8800形車両1編成でVVVFインバータ装置を更新したほか、車内照明のLED化を実施いたしました。

営業面につきましては、千葉ロッテマリーンズや千葉ジェッツふなばしのラッピング電車の運行、果物狩りや沿線健康ハイキングなどのイベント開催、1日乗車券や記念乗車券の販売などをそれぞれ実施し、旅客誘致と増収に努めました。このほか、お子さまが描いた絵で装飾した「新京成ドリームトレイン」を運行し、地域社会の活性化と新たなファンの獲得に努めました。

バス事業では、環境や高齢者などに配慮した車両へと11両代替し、貸切用車両も1両代替いたしました。また、旅客需要に対応するため、新松戸線では南流山駅まで路線を延伸し、前原線では新津田沼のバス折返し施設を飯山満へと移転するなどのダイヤ改正を実施し、利便性の向上と業務の効率化および事業の安定化に努めました。このほか、船橋新京成バス株式会社に金額式IC定期券の販売を開始し、お客さまサービスの更なる向上に努めました。

以上の結果、営業収益は12,232百万円（前期比23.8%減 3,813百万円）、営業損失は2,148百万円（前期は営業利益1,225百万円）となりました。

不動産業

不動産賃貸事業では、新たな収益源確保の取り組みとして、野田市桜の里二丁目および柏市大津ヶ丘一丁目の土地を取得し賃貸を開始したほか、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の維持向上に努めました。

以上の結果、営業収益は前期並みの3,285百万円となり、営業利益は1,395百万円（前期比11.2%減 175百万円）となりました。

その他

その他（コンビニ事業等）では、元山店を拡張したほか、各種セール、ギフト等のイベントへの取り組みを強化するなど、更なる利便性と収益力の向上を図りました。また地域貢献の一環として、新たに沿線の農園と連携した商品を製造したほか、地域産品の販売も開始いたしました。このほか、沿線の農園が野菜やフルーツを販売する「新京成マルシェ」を新鎌ヶ谷駅で初めて開催いたしました。

以上の結果、営業収益は2,033百万円（前期比3.0%減 63百万円）となり、営業利益は35百万円（前期比63.3%減 61百万円）となりました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、引き続き予断を許さない状況が続くものと思われま

す。営業収益につきましては、19,519百万円（前期比12.1%増）を見込んでおり、前年の水準よりは上回って推移するものの、テレワークの浸透や個人行動の変化等により、一定程度の影響が残るものと仮定しております。利益面につきましては、営業利益は1,262百万円（前期は営業損失689百万円）、経常利益は1,516百万円（前期は経常損失364百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は949百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失1,085百万円）を見込んでおります。

なお、次期の見通しにつきましては新型コロナウイルス感染症の再拡大による経済停滞等が発生しないことを前提としております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産につきましては、有価証券の減少等がありましたものの、建設仮勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,734百万円（前期比1.7%）増加し、102,664百万円となりました。

負債につきましては、未払金の減少等がありましたものの、前受金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,307百万円（前期比4.1%）増加し、59,177百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加等がありましたものの利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ573百万円（前期比1.3%）減少し、43,486百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ420百万円増加し、5,775百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,577百万円（前期比49.1%減）となりました。

これは主に税金等調整前当期純損失が728百万円、法人税等の支払額が806百万円あったものの、減価償却費3,294百万円が計上されたこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3,669百万円（前期比40.9%減）となりました。

これは主に工事負担金等受入による収入が2,633百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が6,547百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1,513百万円（前期は49百万円の収入）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出が1,152百万円あったものの、短期借入金の純増加額が1,500百万円、長期借入れによる収入が1,500百万円あったこと等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率（%）	43.4	44.2	43.7	42.4
時価ベースの自己資本比率（%）	26.4	23.3	23.8	23.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	1.4	1.5	1.7	4.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	47.1	41.3	44.4	22.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（3）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の事業は公共性の高い業種でありますので、配当につきましては、経営基盤の強化安定を図るとともに、安全輸送の確保やお客さまサービス向上等の設備投資及び将来にわたる企業体質強化のための原資となる内部留保資金の確保等を勘案しながら、株主の皆さまに安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、1株につき12円50銭（中間配当金12円50銭を含めて年25円）の普通配当を行う予定です。

また、次期の配当につきましては、年間配当金25円（中間配当金12円50銭、期末配当金12円50銭）の普通配当を行う予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、財務諸表作成に係るコスト面や、同業他社の動向を勘案し、従来から適用している日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,354,752	5,775,653
売掛金	1,066,183	1,095,398
未収還付法人税等	—	321,782
リース投資資産	819,071	806,498
有価証券	500,000	—
商品及び製品	42,450	48,117
分譲土地建物	665,485	615,000
原材料及び貯蔵品	482,421	488,886
その他	410,966	231,254
流動資産合計	9,341,330	9,382,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,011,210	21,477,806
機械装置及び運搬具(純額)	5,667,748	5,048,781
土地	11,785,352	12,136,521
建設仮勘定	40,216,624	42,345,162
その他(純額)	1,250,282	910,569
有形固定資産合計	80,931,218	81,918,840
無形固定資産		
投資その他の資産	839,899	682,027
投資有価証券	9,246,918	10,370,907
繰延税金資産	245,544	3,497
退職給付に係る資産	185,892	183,560
その他	138,981	122,689
投資その他の資産合計	9,817,337	10,680,655
固定資産合計	91,588,455	93,281,524
資産合計	100,929,786	102,664,114
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,046,685	1,149,876
短期借入金	2,982,500	4,624,800
未払金	4,308,961	1,985,560
未払法人税等	438,321	7,713
前受金	33,160,524	35,656,056
賞与引当金	480,105	476,982
その他	2,647,323	2,999,260
流動負債合計	45,064,422	46,900,250
固定負債		
長期借入金	5,594,400	5,799,600
繰延税金負債	748,496	1,113,372
退職給付に係る負債	3,335,909	3,263,115
その他	2,126,606	2,101,238
固定負債合計	11,805,413	12,277,326
負債合計	56,869,835	59,177,576

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,522	4,774,522
利益剰余金	29,602,863	28,187,852
自己株式	△84,546	△85,556
株主資本合計	40,228,780	38,812,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,961,650	4,741,571
退職給付に係る調整累計額	△130,480	△67,791
その他の包括利益累計額合計	3,831,170	4,673,779
純資産合計	44,059,951	43,486,538
負債純資産合計	100,929,786	102,664,114

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業収益	21,302,005	17,415,368
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	17,190,954	16,923,629
販売費及び一般管理費	1,191,393	1,181,219
営業費合計	18,382,347	18,104,848
営業利益又は営業損失(△)	2,919,657	△689,479
営業外収益		
受取利息	215	56
受取配当金	83,186	77,019
持分法による投資利益	320,817	204,346
雑収入	91,416	163,688
営業外収益合計	495,636	445,110
営業外費用		
支払利息	115,025	118,772
雑支出	840	1,021
営業外費用合計	115,865	119,794
経常利益又は経常損失(△)	3,299,428	△364,162
特別利益		
工事負担金等受入額	291,192	19,185
持分変動利益	6,792	—
特別利益合計	297,984	19,185
特別損失		
固定資産圧縮損	291,192	19,115
減損損失	—	363,978
特別損失合計	291,192	383,094
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	3,306,220	△728,071
法人税、住民税及び事業税	958,708	85,088
法人税等調整額	△7,827	272,513
法人税等合計	950,880	357,601
当期純利益又は当期純損失(△)	2,355,340	△1,085,672
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	2,355,340	△1,085,672

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	2,355,340	△1,085,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,254,958	758,582
退職給付に係る調整額	64,013	62,688
持分法適用会社に対する持分相当額	1,262	21,337
その他の包括利益合計	△1,189,682	842,609
包括利益	1,165,657	△243,062
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,165,657	△243,062
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,935,940	4,774,519	27,631,759	△84,101	38,258,118
当期変動額					
剰余金の配当			△384,236		△384,236
親会社株主に帰属する当期純利益			2,355,340		2,355,340
自己株式の取得				△482	△482
自己株式の処分		2		37	40
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2	1,971,104	△445	1,970,661
当期末残高	5,935,940	4,774,522	29,602,863	△84,546	40,228,780

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	5,215,347	△194,493	5,020,853	43,278,971
当期変動額				
剰余金の配当				△384,236
親会社株主に帰属する当期純利益				2,355,340
自己株式の取得				△482
自己株式の処分				40
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,253,696	64,013	△1,189,682	△1,189,682
当期変動額合計	△1,253,696	64,013	△1,189,682	780,979
当期末残高	3,961,650	△130,480	3,831,170	44,059,951

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,935,940	4,774,522	29,602,863	△84,546	40,228,780
当期変動額					
剰余金の配当			△329,339		△329,339
親会社株主に帰属する当期純利益			△1,085,672		△1,085,672
自己株式の取得				△1,010	△1,010
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△1,415,011	△1,010	△1,416,022
当期末残高	5,935,940	4,774,522	28,187,852	△85,556	38,812,758

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,961,650	△130,480	3,831,170	44,059,951
当期変動額				
剰余金の配当				△329,339
親会社株主に帰属する当期純利益				△1,085,672
自己株式の取得				△1,010
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	779,920	62,688	842,609	842,609
当期変動額合計	779,920	62,688	842,609	△573,412
当期末残高	4,741,571	△67,791	4,673,779	43,486,538

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	3,306,220	△728,071
減価償却費	3,055,218	3,294,339
持分法による投資損益(△は益)	△320,817	△204,346
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,345	△3,123
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	74,929	△18,175
受取利息及び受取配当金	△83,401	△77,075
支払利息	115,025	118,772
有形固定資産売却損益(△は益)	△22,569	△16,962
工事負担金等受入額	△291,192	△19,185
固定資産圧縮損	291,192	19,115
減損損失	—	363,978
固定資産除却損	119,930	13,638
持分変動損益(△は益)	△6,792	—
売上債権の増減額(△は増加)	228,736	△29,215
リース投資資産の増減額(△は増加)	11,923	12,572
たな卸資産の増減額(△は増加)	△37,869	38,354
未収消費税等の増減額(△は増加)	△72,779	54,736
その他の流動資産の増減額(△は増加)	243,863	6,151
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	4,548	△1,510
仕入債務の増減額(△は減少)	△169,905	78,594
未払消費税等の増減額(△は減少)	△45,635	326,298
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△57,741	△46,822
その他	△246,400	74,146
小計	6,091,135	3,256,209
利息及び配当金の受取額	194,965	244,304
利息の支払額	△114,057	△117,140
法人税等の支払額	△1,108,890	△806,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,063,153	2,577,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	—	500,000
有形固定資産の取得による支出	△8,846,877	△6,547,238
有形固定資産の売却による収入	22,570	16,962
無形固定資産の取得による支出	△363,701	△272,980
工事負担金等受入による収入	2,985,427	2,633,540
投資有価証券の取得による支出	△4,250	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,206,832	△3,669,714
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,500,000
長期借入れによる収入	1,500,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,059,990	△1,152,500
自己株式の取得による支出	△482	△1,010
自己株式の売却による収入	40	—
配当金の支払額	△384,579	△328,747
その他	△5,840	△4,262
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,147	1,513,479
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,094,531	420,900
現金及び現金同等物の期首残高	6,449,283	5,354,752
現金及び現金同等物の期末残高	5,354,752	5,775,653

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別のセグメントから構成されており、「運輸業」及び「不動産業」の2つを報告セグメントとしております。

「運輸業」は鉄道、バスの営業を行っております。また、「不動産業」は土地、建物の販売、賃貸等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	16,025,014	3,180,538	19,205,552	2,096,452	21,302,005	—	21,302,005
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	21,596	104,731	126,328	1,102	127,431	△127,431	—
計	16,046,611	3,285,270	19,331,881	2,097,555	21,429,436	△127,431	21,302,005
セグメント利益	1,225,062	1,570,731	2,795,793	97,234	2,893,028	26,629	2,919,657
セグメント資産	72,249,673	16,653,152	88,902,826	529,773	89,432,599	11,497,187	100,929,786
その他の項目							
減価償却費	2,432,522	622,008	3,054,530	687	3,055,218	—	3,055,218
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	5,056,667	1,528,864	6,585,532	3,479	6,589,011	—	6,589,011

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等
であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	12,211,293	3,171,080	15,382,374	2,032,994	17,415,368	—	17,415,368
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	21,638	114,871	136,509	863	137,372	△137,372	—
計	12,232,932	3,285,951	15,518,883	2,033,857	17,552,741	△137,372	17,415,368
セグメント利益 又は損失(△)	△2,148,524	1,395,521	△753,002	35,730	△717,272	27,793	△689,479
セグメント資産	71,973,080	16,688,239	88,661,320	520,520	89,181,840	13,482,274	102,664,114
その他の項目							
減価償却費	2,647,725	645,448	3,293,174	1,165	3,294,339	—	3,294,339
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	1,928,467	1,002,256	2,930,723	—	2,930,723	—	2,930,723

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等
であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当連結会計年度においては、363,978千円であります。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	4,013.48円	3,961.40円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	214.55円	△98.90円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	2,355,340	△1,085,672
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	2,355,340	△1,085,672
普通株式の期中平均株式数(株)	10,978,139	10,977,842

（重要な後発事象）

該当事項はありません。